

目次

| | |
|--|----|
| 社長あいさつ | 2 |
| 環境保護への基本姿勢 | |
| 環境基本方針 | 3 |
| 環境戦略と2001年度主要活動実績 | 4 |
| 日東電工グループと環境との関わり | |
| 事業の特性と主な環境負荷 | 5 |
| 主な環境適合製品 | 7 |
| 生産活動が環境に与える影響 | 8 |
| 2001年度の環境活動 | |
| 日東電工における環境保護活動計画(ボランタリープラン) | 9 |
| ボランタリープランの実績1 廃棄物削減への取り組み | 10 |
| ボランタリープランの実績2 CO ₂ 排出削減への取り組み | 11 |
| ボランタリープランの実績3 大気汚染防止への取り組み | 12 |
| PRTRへの取り組み | 13 |
| 環境会計の実績 | 15 |
| 2002年度に向けての活動計画 | |
| 2002年度 環境活動計画概要 | 17 |
| 環境保護活動の沿革 | 18 |

日東電工の環境報告書

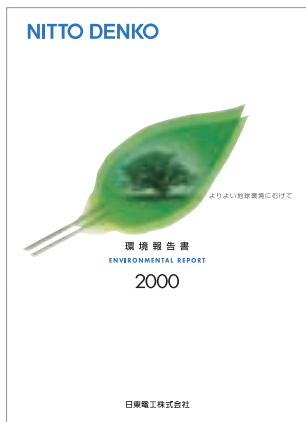
1998年版



1999年版



2000年版



2001年版



環境報告書作成に当たって

今年度の環境報告書の作成に当たって、その編集方針を改めました。

昨年度までは、環境報告書を発行している多くの先輩企業に学び、記載内容を網羅的に、できるだけ多くの内容を盛り込むことで充実を図って行こうと考えていました。しかしそれは、ページ数が膨大になってしまい、日東電工グループが目指す「環境経営の考え方」や「その年度の活動内容」が不鮮明になるとの判断にいたり、今年度から試行的に下記の内容を中心に編集いたします。

1 当社グループの業種、業態に起因して発生する独特の環境負荷を明確にし、製造段階の負荷低減に力点を置いた取り組み姿勢と活動の結果を報告。

2 発行年度の時代趨勢を踏まえた項目に関する活動の報告。

例えば、今年度版は「PRTRへの取り組み」

3 当社グループ独自の活動や先進的な活動の紹介。

環境報告書はホームページとの相互補完とすることで紙面を削減し、記載は技術的内容を中心にして当社グループの活動を理解していただきやすくします。

取締役 環境技術開発部長 堀内 哲夫

対象期間

2001年4月1日～2002年3月31日

対象範囲

マテリアルフロー・ボランタリープラン・PRTRの各データ:日東電工国内7事業所
環境会計:日東電工単体、国内日東電工グループ5社
次回発刊予定 2003年6月

会社概要

社名:日東電工株式会社

設立:1918年10月25日

本社:大阪府茨木市下穂積1丁目1番2号

資本金:267億8,300万円(2002年3月31日現在)

従業員:2,984名(2002年3月31日現在)

連結売上高:3,389億3,000万円(2001年度)

単独売上高:1,954億5,600万円(2001年度)